

調理中に鍋、フライパン中の食材を動かしたい。

→蓋を外す手間がかかる。

→蓋を鍋、フライパンからずらすと、落下する危険がある。

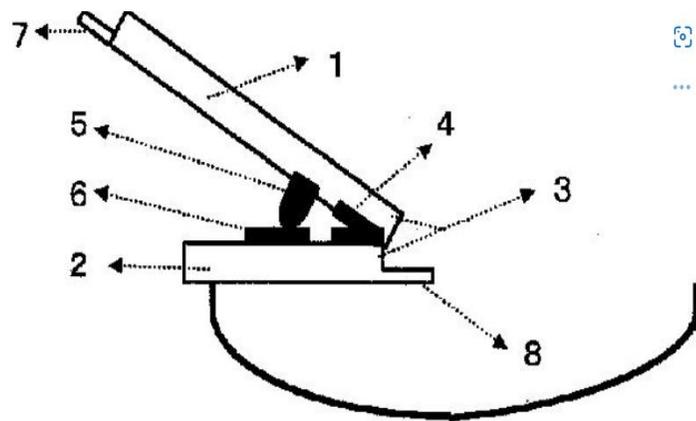
蓋の形を鍋、フライパンの上で変形させる。

- ➡蓋を外さずに中の食材を調理可能にすることが出来る。
- ➡蓋の形状を工夫することで、片手でも開けやすく、洗いやすい蓋にする。

調理蓋についてJ-PlatPatで先行技術調査を行った。

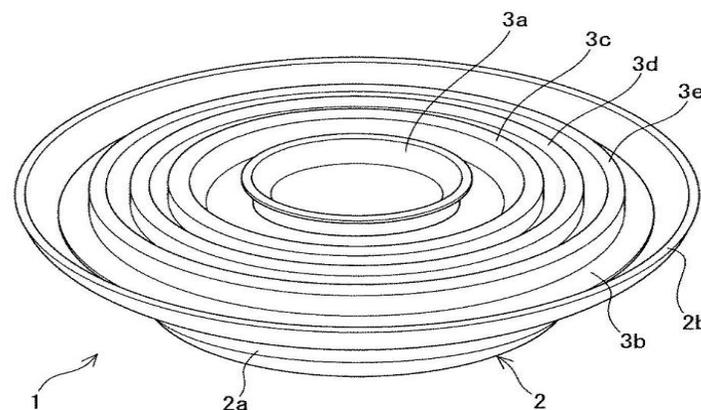
- ・ 落とし蓋以外の変形蓋の例は少ないと分かった。
- ・ 開く大きさを調整できる蓋は発見出来なかった。

先行技術例



実用新案登録第3081610号

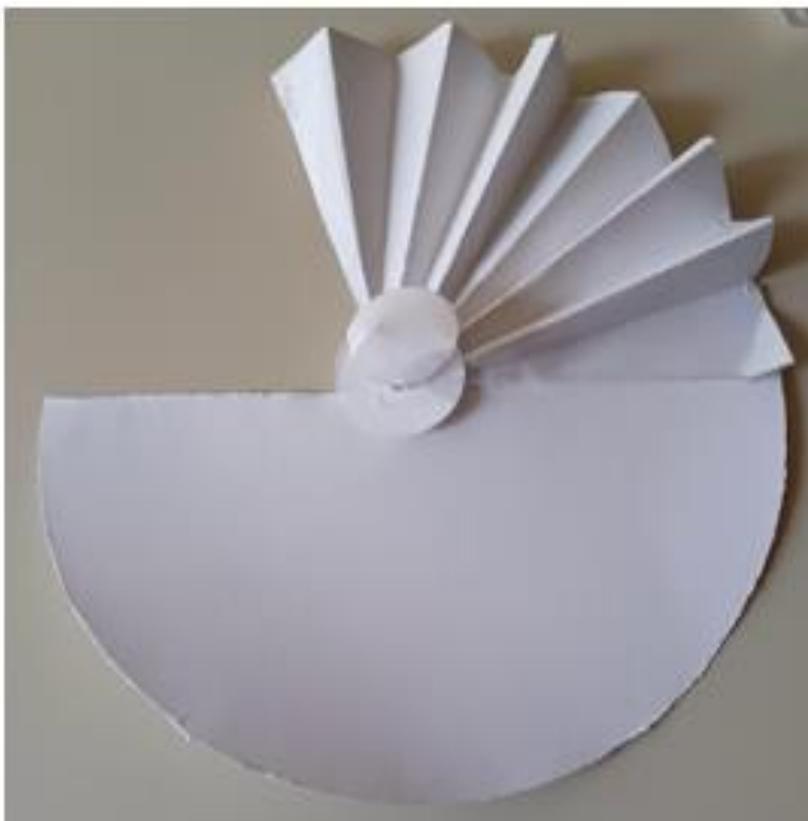
開閉式の鍋フタ



特開2011-10668

調理用鍋蓋およびそれを備えた調理用鍋

可変形円形蓋



優れている点

- ・調理中に蓋を外す必要がないため、蓋の置き場所に困る、蓋が落下する危険といったことが無くなる。
- ・蓋の開く大きさをある程度調整でき、油のはねを抑えられる。

蓋自体が回転中に落下しないように蓋の大きさは半円よりも小さくならないようにする。